



6月と後半を迎えます。つぼみ組と年少組のおとこだちは園生活のリズムにも慣れて来て、園生活の楽しさが分かって来たのでしょうか。その事が一人々々の表情から読みとれます。

年中児と年長児たちは一人々々がその日の目標を持って登園しております。「オハヨウ！今日は何をがんばるの！」に「なわとび！！」と返事が即答です。

■たいすきなパパ人プレゼントをくりました！

パパの喜ぶ笑顔を想い浮かべながらちいさな手で、可愛い指を使ってしんけんにつくりました。

■園庭の遊具は沢山の種類を用意しており、どの遊具も連日引っぱりだこの人気です。

今回はスケーターとペダル無しの2輪車について触れてみましょう。

5月の園庭解放から間もなくの頃は年長児

と年中児たちが主として使っておりますが、やがて年少児たち、そしてつぼみ組さんたちもその仲間入りするようになって来ました。



「父の日」プレゼントです。おおげさに喜んであげて出来はえを賞めてあげてください。

つぼみ♡に印すパパだいすき♡ネクタイ掛け♡

年少組 可愛い写真入りパパ大好きキリッ

年中組 写真入りパパ大好きキーホルダー

年長組 読書に仕事に使える写真入りしおり

順番を待たず小さなトラブルがあちこちで見かけます。「なかよくかあうね！」「さそみはいてのりましょね！」…とスタッフ達の声。

最近では上手になって来ました。スピードに乗って両足を上げたまま10メートル以上も行く2輪車、片足を上げたまま数メートル走るスケーターにも年少組とつぼみのカラー帽子が…「スピード出さないで！」の声。

こども  
幼児にとって大切な体の動き

赤ちゃんは数ヶ月経つと寝返りをするようになり、12ヶ月前後で歩くようになります。やがて2歳になると走る跳ぶ転がるのが大好きになり、目の前に広場が広がると走り出します。脳が育つと神経系統も成長して来たのです。

生まれてから6歳ころ迄にその子の神経系統は80%ほど成長して、10歳迄に残りがほぼ完成します。この2歳からの幼児期にさまざまな体の動きを体験させてあげるとその子の神経回路は沢山の刺激を得て運動能力は高まります。合わせて脳の発達にも大きな成果があります。

幼児期に覚えた自転車乗りは10年20年の間乗らずとも乗る事が出来ます。一度出来あがった神経回路は消える事は無いからです。

今、この幼児期にその子の神経回路を刺激してあげてその子の運動能力を高めてあげ、脳の発達を促してあげるべきでしょう。

私たちスタッフはそのお手伝いをさせて頂いております。まず走る事が基本中の基本になります。走ったり、止まったり、後向きになったり、変化を付けます。又、動物の形態を真似て歩いたり、体を動かしたりとします。これらはどかいつぼみ組や年少組の最初の段階で最適です。賞めてあげ、ひとりひとりから「やる気」を引き出してあげる事がポイントです。やがてスキップが出来るようになればうれしいですね。出来ますよ。

長座・開脚・大腿びらきと言うストレッチからアザラシ・ブリッジと言う難易度を上げたストレッチへと進んで、カエルジャンプに挑戦し徐々に難易度を上げます。

これら一連の体操は毎日続ける事で成果が期待されます。